審査	評価項目		評価の視点	配点	A社	B社	C社	D社
提案内容評価	**業務理解・全体方針**							辞退
		本業務の背景・課題の理解	・クラウドサービス利用の拡大、働き方の多様化、現行システムの老朽化、運用管理負担の増大、セキュリティリスクの高まりといった本市の課題を踏まえた提案となっているか。 ・単なる機器更新ではなく、次期システムとして何を改善するのかが具体的に示されているか。 ・職員の業務効率、システム管理者の運用負担、セキュリティ確保のバランスが考慮されているか。	10	6.333	5.666	7.333	
		仮想化基盤・庁内ネットワーク一体更新の考え方	・次期システム全体の構成方針が明確であり、仮想化基盤、庁内ネットワーク、セキュリティ、監視、バックアップ等の各要素に一貫性がある提案となっているか。 ・個別機能や個別製品の部分最適にとどまらず、本市全体の業務継続性、運用性、セキュリティ、コストのバランスを踏まえた全体最適の考え方が示されているか。	10	6.000	5.666	6.000	
	職員の利便性・業務継続性							
		α'モデル移行後の職員利用イメージ	・αモデルからα'モデルへ移行した後、職員が日常業務をどのように行うのかが分かりやすく示されているか。 ・Google Workspace等のクラウドサービス利用時に、職員が過度に煩雑な操作を求められない提案となっているか。 ・L-NWからのローカルブレイクアウト利用時に、認証、ファイル送受信、無害化、ログ取得等の流れが職員目線で分かりやすいか。	30	19.000	16.000	21.000	
		仮想ブラウザ	・本市に適した仮想ブラウザ方式が提案されているか。 ・全職員約1,100名が利用する前提で、ライセンス形態、同時利用数、将来的なライセンス増減時の費用・手続きが分かりやすく示されているか。 ・少なくとも700ユーザーの同時利用時においても、自治体業務に支障のないレスポンス、セッション維持、安定性が確保される提案となっているか。 ・窓口業務部門等、クラウドサービスを継続的に利用する業務において、タイムアウトやセッション切断による業務支障を抑える工夫が考慮されているか。 ・Web会議、動画再生、音声、カメラ、マイク、画面共有、資料共有の利用に支障が出にくい提案となっているか。 ・L系端末にインストールしたクライアント証明書を利用するクラウドサービスへの対応が考慮されているか。 ・職員が通常のブラウザ利用との違いを理解しやすい工夫があるか。 ・Active Directory連携やWindowsログオンユーザー情報の利用等により、職員が仮想ブラウザ起動時に追加認証を求められない提案となっているか。 ・仮想ブラウザ環境とL系端末・L系NWとの間におけるファイルのアップロード／ダウンロードについて、無害化、承認、ログ取得等のセキュリティ対策と職員の操作性が両立された提案となっているか。 ・認証の利便性を確保しつつ、利用者識別、ログ取得、権限管理が適切に行える提案となっているか。	50	35.000	35.000	35.000	
		ファイル転送・無害化	・M-NW、L-NW、I-NW間のファイル受渡しについて、職員が迷わず利用できる流れが示されているか。 ・無害化、上長承認、ログ取得等のセキュリティ対策と、日常業務の効率性が両立されているか。 ・無害化できないファイルや、業務上例外的な取扱いが必要なファイルへの対応が考慮されているか。 ・仕様書に示す必須対応拡張子について、無害化方式、制約事項、処理後のファイル利用可否が具体的に示されているか。 ・推奨対応拡張子について、対応可否、対応方式、制約事項が分かりやすく示されているか。 ・無害化できないファイルや業務上例外的な取扱いが必要なファイルについて、職員及び管理者が迷わない運用が考慮されているか。	20	16.000	11.333	12.000	
		端末・周辺機器移行時の業務影響低減	・庁内端末の設定変更、プロキシ設定、ソフトウェア変更等について、受託者が主体となって確実かつ効率的に実施できる提案となっているか。 ・プリンタ、複合機、スキャナ等の周辺機器について、切替後に職員が速やかに業務を開始できる提案となっているか。 ・資産管理ツール、スクリプト、自動配信、現地作業等を適切に組み合わせ、業務停止時間、設定漏れ、問い合わせ発生を抑える工夫が示されているか。	20	13.333	14.000	14.000	
	α'モデル・ネットワーク構成							
		ローカルブレイクアウトの安全性・実用性	・L-NWからインターネットへの直接通信について、許可する通信と許可しない通信の考え方が明確か。 ・OS更新、主要ソフトウェア更新、Google Workspace、Microsoft 365等への通信を安全かつ安定して利用できる提案となっているか。 ・プロキシ認証、ログ取得、Webフィルタリング、SSL/TLS復号、テナント制御等が適切に考慮されているか。 ・Google Workspaceをはじめ、本市が指定するクラウドサービスのIPアドレス、ドメイン情報の変更に継続的に追従する方法が具体的に示されているか。 ・本市が指定するクラウドサービスについて、対応可否や対応範囲が分かりやすく示されているか。 ・職員が意図せず危険な通信経路を利用しないための仕組みが考慮されているか。	50	35.000	26.666	36.666	
		三層分離・ネットワーク間通信制御	・M-NW、L-NW、I-NWの分離を維持しつつ、必要な通信のみを許可する考え方が示されているか。 ・中継セグメントを含むネットワーク間通信について、最小権限の考え方が反映された提案となっているか。 ・意図しない通信経路やセキュリティホールを生じさせないための確認方法が示されているか。 ・現行設定を単純に踏襲するのではなく、不要・過剰な許可設定を整理する提案となっているか。 ・M系端末からのLGWAN-ASPサービス利用について、本市が指定するサービスのみに限定するアクセス制御が考慮されているか。	20	14.000	11.333	12.666	
		LAN機器・ファイアウォール構成	・センタースイッチ、フロアスイッチ、各種ファイアウォール、LBO用回線等について、本市の規模や利用形態に適した機器構成が提案されているか。 ・前回調達時の台数や現行構成を踏まえ、必要台数や配置の考え方が具体的に示されているか。 ・冗長化、性能、切替時間、保守性、設定ミス防止、管理のしやすさが考慮されているか。 ・LBO用ファイアウォールとアプリケーション識別型ゲートウェイを集約する場合、その妥当性が示されているか。 ・インターネット接続用ファイアウォールについて、兵庫県提供装置側の機能、現行通信制御ポリシー、運用性、セキュリティ面を踏まえ、設置要否を含めた最適な構成が提案されているか。 ・機器を削減または集約する場合でも、セキュリティ低下や障害時の切り分け困難化が生じないよう考慮されているか。	20	11.333	15.333	13.333	
	仮想化基盤・サーバ構成							
		仮想化基盤の構成・性能・拡張性	・3階層構成またはHCI構成について、本市に適した方式とその理由が示されているか。 ・Type-1ハイパーバイザ、HA、ライブマイグレーション、リソース管理、スケールアウト等が考慮されているか。 ・現行サーバリソース、将来拡張用リソース、OS更新による負荷増、常駐プロセス等を踏まえたサイジング提案となっているか。 ・SSD、HDD、オールフラッシュ等の使い分けについて、性能、容量、費用、耐久性のバランスが考慮されているか。 ・提案金額内で確保される余剰リソースや追加費用なく対応可能な拡張範囲、ならびに将来的に追加費用・追加機器・追加ライセンス等が必要となる条件が明確に示されているか。	50	38.333	26.666	36.666	
		個別サーバ・共通基盤機能の配置・連携	・ドメインコントローラー、ファイルサーバ、プロキシサーバ、メールアーカイブ、資産管理、監視、更新プログラム配信、Syslog、USBメモリ管理等の配置が、本市のセキュリティと運用効率を踏まえた提案となっているか。 ・各機能が個別最適にとどまらず、認証、ログ、監視、バックアップ、運用管理と連携しやすい提案となっているか。 ・管理サーバや共通基盤機能の配置について、三層分離環境における通信制御、権限管理、運用負担が考慮されているか。	30	18.000	18.000	19.000	
		AD・認証・GPO	・M-NW、L-NW、I-NWにおけるAD構成、認証、DNS、時刻同期、レプリケーションの考え方が明確か。 ・職員のログインやシングルサインオンの利便性を損なわない提案となっているか。 ・GPOについて、既存設定を確認したうえで、不要な設定の整理や次期環境に必要な設定の追加・見直しが考慮されているか。 ・Google Workspace等のクラウドサービス利用時の認証・アクセスについて、本業務で導入する基盤との関係が分かりやすく示されているか。 ・将来的なゼロトラスト移行を見据え、IDaaS、MFA、SAML、OIDC等との連携可能性が考慮されているか。	20	12.000	12.000	14.000	

審査	評価項目		評価の視点	配点	A社	B社	C社	D社
提案内容評価		既存ソフトウェア互換性・ライセンス継続性	・Microsoft 365 Apps、Office LTSC 2024、Just Office、ARCACLAVIS NEXT、JinCreek for VPN+等について、動作検証の進め方、確認範囲、制約事項の提示方法が具体的か。 ・既存ソフトウェアの動作に不具合や制約がある場合に、開発元・導入事業者との調整支援を含め、職員業務への影響を最小化する対応が考慮されているか。 ・Windows Server、CAL、指定製品、仮想化基盤、ハードウェア保守等について、5年間の継続利用とメーカーサポートが考慮されているか。	30	18.000	18.000	20.000	辞退
	システム管理者・運用員の運用しやすさ							
		監視運用のしやすさ	・ネットワーク機器、物理サーバ、仮想サーバ、ストレージ、UPS等を一元的に把握しやすい提案となっているか。 ・死活監視、SNMP監視、Trap監視、リソース監視、ログ監視、サービス監視が過不足なく考慮されているか。 ・運用員やヘルプデスクが障害箇所を早期に把握し、一次切り分けを行いやすい画面や通知の提案となっているか。 ・監視ツールが乱立せず、日常運用で扱いやすい提案となっているか。	20	12.000	12.666	12.666	
		ログ管理・分析	・ファイアウォール通信ログ、サーバ操作ログ、認証ログ、SKYSEAログ等を統合的に収集・確認できる提案となっているか。 ・5年間のログ保管、改ざん防止、検索性、レポート出力、容量管理が考慮されているか。 ・M系ログとその他ログについて、権限分離や閲覧制御が考慮されているか。 ・インシデント調査時に必要なログを追跡しやすい提案となっているか。	20	12.666	12.666	13.333	
		更新プログラム・資産管理・ウイルス対策・USB管理	・兵庫県管理のWSUSサーバに依存しない更新プログラム配信方式が具体的に示されているか。 ・M系端末など、直接インターネット接続を行わない環境への更新適用方法が具体的か。 ・Trend Micro Apex One、SKYSEA Client View等の指定製品を前提に、管理者の運用負担が少ない提案となっているか。 ・セキュリティUSBメモリの利用履歴、ファイル操作履歴、棚卸し、紛失時対応が具体的か。	20	14.000	12.666	12.666	
		手順書・マニュアル・教育・引継ぎ	・システム管理者、運用員、ヘルプデスクが実際に使える手順書・マニュアルの作成が期待できるか。 ・日常点検、障害対応、バックアップ・リストア、更新作業、緊急遮断、ログ確認等の手順が分かりやすく整理される見込みがあるか。 ・次期ヘルプデスクへの引継ぎ、教育、操作説明が十分に考慮されているか。	20	12.000	12.000	12.666	
		保守運用体制・サポートサービス水準	・本業務で導入するハードウェア、ソフトウェア、回線、クラウドサービス等について、受託者及びメーカーサポートの対象範囲、受付時間、対応時間、対応方法が明確に示されているか。 ・平日9時から17時の保守対応を基本としつつ、時間外、休日、年末年始等におけるサポートの考え方が、本市の業務継続性を踏まえた有効な提案となっているか。 ・受託者、メーカー、再委託先、関連事業者の連携体制が明確であり、障害時にサポート窓口や対応責任が不明確にならない提案となっているか。 ・リモート対応、オンサイト対応、部品交換、設定変更、問い合わせ対応、技術調査等について、保守費用に含まれる範囲と追加費用が発生する条件が明確か。 ・5年間の保守運用期間を通じて、サポート切れ、保守範囲外、ライセンス不足等により運用に支障が生じない提案となっているか。	80	50.666	58.666	64.000	
	バックアップ・セキュリティ・緊急時対応							
		バックアップ・DR・ランサムウェア対策	・3-2-1ルール、遠隔地保管、RPO、RTO、バックアップウィンドウを満たす具体的な提案となっているか。 ・クラウドストレージまたは遠隔地データセンターの利用について、地理的距離、国内保管、可用性、セキュリティが考慮されているか。 ・イミュータブルバックアップ等、ランサムウェアによる改ざん・暗号化への対策が示されているか。 ・ファイル単位、フォルダ単位、仮想マシン単位等、必要な粒度で復元できる提案となっているか。 ・バックアップ通信が通常業務やLBO通信を阻害しない工夫が示されているか。	30	23.000	21.000	20.000	
		セキュリティ管理・監査対応	・本市の情報セキュリティ要件を、再委託先を含めて遵守できる提案となっているか。 ・稼働前及び稼働後の情報セキュリティ監査に必要な資料提供、問い合わせ対応が考慮されているか。 ・構築時、保守時、リモート保守時の安全管理が具体的に示されているか。	20	12.000	13.333	12.666	
		障害・インシデント・災害時対応	・通常障害、重大障害、セキュリティインシデント、大規模災害等について、発生時の初動、影響範囲確認、暫定対応、復旧、報告、再発防止までの流れが具体的に示されているか。 ・障害レベルや影響範囲に応じた判断基準、優先順位、対応方針が明確か。 ・ランサムウェアや標的型攻撃等に対し、被害拡大防止、影響範囲特定、隔離、仮復旧、本復旧、再発防止まで考慮された提案となっているか。 ・障害やインシデント発生時に、本市運用員が確認すべき事項、受託者へ連絡すべき事項、庁内外の関係者と共有すべき事項が分かりやすく整理されているか。 ・復旧後の原因分析、障害報告、再発防止策、運用改善への反映方法が明確か。	50	38.333	28.333	31.666	
	導入・移行・プロジェクト管理							
		プロジェクト管理・スケジュール・関係者調整	・現行システムからの円滑な移行、業務繁忙期、ヘルプデスク引継ぎ時期等を踏まえ、無理のない実施スケジュールとなっているか。 ・現状調査、要件整理、構築、テスト、移行、研修、引継ぎまでの作業工程、作業順序、役割分担が分かりやすく示されているか。 ・PM、技術担当、保守担当、再委託先等の体制が本業務の規模や難易度に見合っているか。 ・WBS、進捗管理、課題管理、リスク管理、品質管理の進め方が具体的か。 ・既存業務システムベンダー、回線事業者、ヘルプデスク、県情報セキュリティクラウド関係者等との調整を、受託者が主体的に支援できる提案となっているか。 ・本市への依頼事項、判断事項、確認事項が適切に整理されており、本市に過度な負担を求める内容となっていないか。	30	22.000	16.000	23.000	
		移行方法・切替方法	・ネットワーク移行、サーバ移行、ファイルサーバ移行、V2V移行、端末設定変更、周辺機器設定変更について、現実的な方法が示されているか。 ・移行パターンA、B、Cそれぞれに応じた対応が考慮されているか。 ・移行リハーサル、本番切替、切戻し判断、旧環境への復旧方法が具体的か。 ・職員の業務停止時間を最小化する工夫があるか。	30	21.000	19.000	19.000	
		テスト・検証	・単体、結合、総合、性能、障害、移行、セキュリティ試験が十分に考慮されているか。 ・インターネットと接点を有するシステムに対する脆弱性診断の実施方法、対象範囲、実施時期、指摘事項への対応方針が具体的か。 ・仮想ブラウザのレスポンス、1,100ユーザー利用、Web会議、動画再生等の確認方法が具体的か。 ・COUSグループウェアの仮想ブラウザ動作試験について、画面表示、メール送受信、添付ファイル、文字入力、マウス操作等が漏れなく考慮されているか。 ・不具合発生時の対応、再試験、合否判定の考え方が示されているか。	20	13.333	10.666	13.333	
	追加提案							
		本市に有益な追加提案	・仕様書の範囲を踏まえたうえで、本市の運用改善、セキュリティ向上、職員利便性向上、コスト最適化につながる追加提案があるか。 ・追加提案の費用、効果、実現条件が分かりやすいか。	50	31.666	30.000	38.333	
	ヒアリング							
		円滑なコミュニケーション・前向きな提案姿勢	・本市の課題に対し、受け身ではなく、前向きかつ主体的に解決策を提案する姿勢が感じられるか。 ・本市の質問や懸念事項に対し、意図をくみ取った分かりやすい説明ができているか。 ・専門的な内容についても、本市が判断しやすいよう、分かりやすく丁寧に説明できているか。 ・本市、運用員、ヘルプデスク、関連事業者と円滑に意思疎通を図りながら業務を進められると期待できるか。	30	24.000	17.000	22.000	
		専門知見・自治体セキュリティへの理解	・PM、技術担当者、保守担当者が、本業務を遂行するために十分な知見を有していると判断できるか。 ・庁内ネットワーク、仮想化基盤、三層分離、α'モデル、自治体セキュリティに関する理解が感じられるか。 ・本市、運用員、ヘルプデスク、関連事業者と円滑に連携できる体制と判断できるか。	20	15.333	10.000	15.333	
			小　計	**800**	**544.3**	**489.6**	**558.3**	

審査	評価項目		評価の視点	配点	A社	B社	C社	D社
価格評価	**価格評価**							
		価格評価	価格点 ＝ 配点 ×（ 1 － 見積価格 ÷ 予定価格 ）	200	19.1	30.5	0.0	辞退
			小　計	**200**	**19.1**	**30.5**	**0.0**	
			総　計	**1,000**	**563.4**	**520.1**	**558.3**	

※提案内容評価の算出にあたっては、複数委員の評価の合計点を平均し、小数点以下第二位を切り捨てたものを得点としています。